



平和を愛する

2009.9.13

# タダ達の休日



**JASDF**  
Japan Air Self-Defense Force

航空自衛隊

百里基地

HYAKURI AIR BASE

今回は、タダ物好きのボーイ隊長とM副長は、小美玉市にある【航空自衛隊百里基地】の航空祭に出没だ。基地の隣では現在、3月の茨城空港開港に向けて工事中である。来年からの航空祭はどうなるのだろうか？楽しみが減ってしまうでないか。説明文にかなり専門的な表現があるが、決して軍事オタクとかではなく、世界平和を望む2人であった。ボーイ隊長の勝手な解釈では、以下の3種があるそうだ。「オタク」とは・・・ちょー狭い範囲にこだわるヒトビト。個人だけで行動する。軍事オタクだと、銃だけ、とか戦闘機だけ、とか戦車だけとか。「マニア」とは・・・オタクよりは若干範囲が広いかも知れない。群れを作る傾向にあるかも。軍事マニアだと、兵器全般とか、戦略、戦術とか。「タダの物好き」とは・・・なんでも興味を示す。飛ぶものならてふてふ(チョウチョ)から飛行機、UFOまで。走るものならトカゲから馬、羊、バイク、車など。泳ぐものは、ミジンコから潜水艦まで。タダの物好きは、な～んでも幅広～く、浅～く楽しむである。実際に現地では、もう1種確認できた。それは、「ただのヤジ馬」、である。例えば、ボーイ隊長の右隣を占拠していた家族。おとつあんはずっと寝ていた！（ように思われる。）子供達は、DSに興じて、なんのために航空祭に来たか分からない状態。洒落た「Air Borne」のキャップを手に取り、「オラ、何がであるが、わがんね」と言っているジサマがいたり、このようなヒトビトを指す。それにしてもすごい人出だ！去年は原油高騰で中止。何万人いるのだろう。これも高速料金1,000円の影響か！

# M副長新聞

内容は、タダの物好きの域を超えているような気がする。



2009.9.16  
第46号

ボーイ隊長から、駐車場は草地につき夜露があるので、迷彩ズボンで行くと申し出があったが、それってマニアじゃないですか！と言った自分はカーゴパンツであった。



草地の臨時駐車場に止めて、会場に向かう。早速 エンジンが外されたRF-4とF-4のスクラップ？部品取りか？8時前に到着したが、会場はヒト・ヒト・ヒトだらけ。左下写真は、F-15(愛称イーグル)に搭乗するパイロットで「イーグルドライバー」と呼ばれる。M副長は「セレナドライバー」とは呼ばれていない。

- 百里基地の航空機の種類
- 戦闘機 F-15J/DJ
  - F-4EJ改
  - 偵察機 RF-4E/RF-4EJ
  - 中等練習機 T-4
  - 救難捜索機 U-125A
  - 救難救助機 UH-60J

説明がややこしくなってきた。興味のある者は、詳しくは、百里基地及び航空自衛隊のHPを見てもらいたい。



UH-60(ブラックホーク)救援用のヘリ。負傷者と救助員をワイヤーで吊り上げる。



ペトリオットミサイルシステム。広域防空用の地対空ミサイルシステム。自衛隊はパトリオットベトリオットと呼ぶそうだ。



自慢のこの銃は2日で壊れた。シルバーウィークは修理だ！

どうも息子が飛行機に興味を示さないとしたら、この銃が気になっていたらしい。こやつも物好きの血を聞いたか？



C-130H(ハーキュリーズ)戦術輸送機。完全武装の空挺隊員64人を乗せることができる



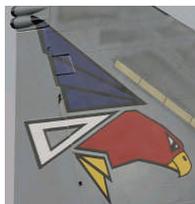
RF-4E(ファントム)偵察機。部隊マークはウッドペッカー(キツツキ)。川中島の戦いの啄木鳥戦法にちなむ。



F-4の改修したもの。目と口が描かれている。理由は分らない。

### 百里基地所属飛行隊の垂直尾翼マーク

第7航空団第302飛行隊F-4  
部隊マークは「オジロワシ」



第7航空団第305飛行隊F-15  
部隊マークは「日の丸に梅の花」





E-2C(ホークアイ)早期警戒機。空母に積むため両翼が折り畳める。所属は青森の三沢基地。宇宙船のようだ。



T-4ブルーインパルス。その曲技はまさに「蒼い衝撃」だ！



CH-47J(チヌーク)航空基地間の輸送を行うヘリ。



AH-1(コブラ)魚みたいに細そっ！霞ヶ浦駐屯地から来たと思われる。



機種不明。特に興味がなかった。米国海軍の飛行機だそう。



F-15の始業点検。燃料補給のトラックが来ている。パイロットが機体の上に立っているのが分かるかな・

## 青森県三沢基地所属飛行隊のマーク

三沢基地所属の航空総隊警戒航空隊E-2C(ホークアイ)、「コウモリ」と「電光」をモチーフにしている



# ボーイ隊長の写真館

\*コメントはM副長



F-15の動作展示。フラップなどが動くのが見れる。



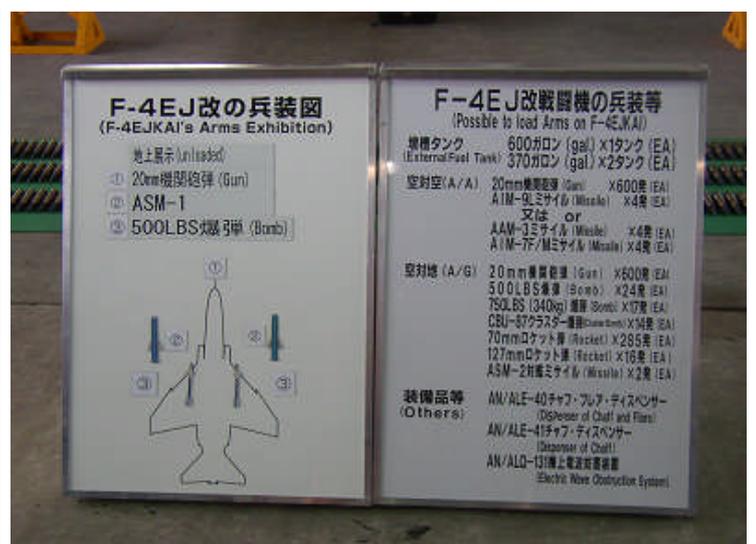
F-15のお尻。ジェット噴出孔。



ASM-1(80式空対艦誘導弾)

500LBS爆弾(500ポンド爆弾:約229kg)

F-4の装備兵器。先っぽには20ミリ機関砲も装備。初飛行から38年目で、何回もの改修が行われている。



2つの燃料タンクに3,671ℓが入る。直近のガソリン売価で計算すると45,588円 1ℓで860m飛ばらしい。



RF-4Eのアレスティング・フック。航空空母に着艦時に甲板に装備されたワイヤーに引っかけて短距離で停止させる効力を持つ。



F-4の正面写真。なかなかこの角度からは、見ることが出来ない。ピッカピカで尖っているぞー。



F-15の列線。(拡大トリミング加工)



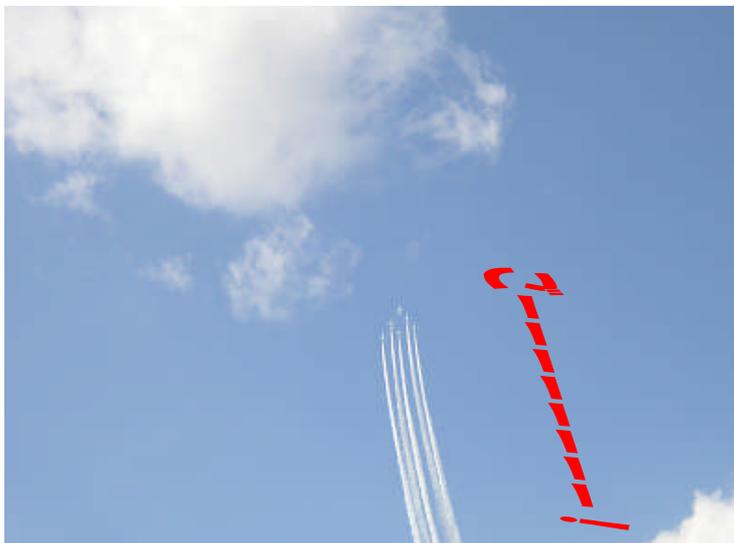
飛んでいるF-15。(拡大トリミング加工)



飛んでいるF-15。(拡大トリミング加工) これは良く写っている。



離陸F-4。(拡大トリミング加工)



T-4ブルーインパルスの編隊。(拡大トリミング加工)



T-4ブルーインパルスの編隊。(駐車場から)

## ブルーインパルスとは

宮城県松島基地の第4航空団に所属する「第11飛行隊」で、T-4機を使用して航空自衛隊の存在を多くの人々に知ってもらうために、航空自衛隊の航空祭や国民的な大きな行事などで、華麗なアクロバット飛行(これを展示飛行と呼びます)を披露する専門のチームのこと。最高スピードはマッハ約0.9(約1,040km/h)。青と白にカラーリングされた6機の機体が、大空で展開する一糸乱れぬフォーメーション、そしてダイナミックなソロ演技——次から次へ繰り広げられる驚異のパフォーマンスは、何回観ても驚きの連続だ！パイロットは「ドルフィンライダー」と呼ばれるらしい。



# 今回の駐車場及び会場内拠点の位置図



## 来年のための記録 段々マニアの世界に入ってきているような、違うような？

ルート牛久から土浦駅東口前を通り、霞ヶ浦大橋を渡り、R304～R8の倉数公民館(たぶん?)付近で怪しい細いショートカットコースで約1時間ちよいで到着した。ナビは、R6で石岡経由だがそれを無視してのルートである。怪しい細いショートカットコースはナビの表示であるが、近かったかどうかは不明。帰りは、最後のブルーインパルス展示飛行は駐車場で観たので、駐車場から出る混雑に巻き込まれずに無事脱出。怪しい細いショートカットコースは一方通行となり、R50～R340となった。

## 来年のための対策 駐車場のほうが、航空機の動きが全体的に観えて楽しいのだ！

1. 駐車場を確保したら、水筒と軽食を持って会場に行く。
2. 展示物をあらかじめみて、お土産を購入したら駐車場に戻る。
3. 駐車場にタープを張り、テーブルとイスをセッティングし、お湯を沸かしカップ麺を食するもよし、またコーヒーブレイクもよし。
4. ブルーインパルスの展示飛行が、終了したら即岐路に着く。

## M副長推薦のお土産品

自衛隊名物おみやげまんじゅう『炎の大作戦2』 800円  
ロシアンルーレット？ならぬ、まんじゅうだけに、こしあんルーレット？装填された12発(個)の中に演習弾(こしあん)10発(個)と実弾(唐辛子入り饅頭)2発(個)入り！

同僚には大受けであったが、偶然にも実弾を引いたのは大の辛党で有名な2名のためおもしろさは半減。でも、かなり辛かったようだ。

茨城空港開港により、民間共用化となると来年はどうなるのだろうか？3年おきに行われる航空観閲式がある年は、航空祭はないようだ。昨年(H20)は航空観閲式のため開催されていない。

